

令和7年2月17日  
香川県農業協同組合  
香川県森林組合連合会

## 香川県産ヒノキを使用した「木製ベンチ」 高松盆栽の郷に設置

～持続可能な農業・林業の確立と住み続けられる地域社会を目指して～

香川県農業協同組合、香川県森林組合連合会の連携

香川県農業協同組合（代表理事理事長：村川進、以下「JA香川県」）、香川県森林組合連合会（代表理事会長：五所野尾恭一、以下「県森連」）、は連携して香川県産ヒノキを使用した「木製ベンチ」を制作し、JA香川県高松盆栽の郷に設置しました。

この取り組みは令和4年12月22日に締結した持続可能な農業・林業の確立と住み続けられる地域社会づくりに向けた包括連携協定の一環で実施します。

県内だけでなく県外からの来客も多い同施設に設置し、多くの人に「木材を使用することで森林を守り育て、山地災害の防止や気候変動の緩和に役立つこと」を知ってもらうことが目的です。また、今回は県森連が立ち上げ、JA香川県も参画する「香川ヒノキを応援する会」として、県産ヒノキの有用性や優位性をPRするため、ベンチに使用する木材は県産ヒノキとしました。

### 1. 設置開始日

令和7年2月7日以降

### 2. 設置店舗

JA香川県高松盆栽の郷（高松市国分寺町国分 353-1）

### 3. 設置物

- ・名称：木製ベンチ
- ・大きさ：W1400×H420×D400
- ・材質：香川県産ヒノキ

### 4. 設置数

2基

### 5. 取材について

高松盆栽の郷にて現物の取材が可能です。また、2月7日（金）に実施した引き渡しの様子についても写真を記録しておりますので、提供可能です。



## ■包括連携協定について

J A香川県と県森連は、令和4年12月22日に、「持続可能な農業・林業の確立と住み続けられる地域社会づくり」に向けた包括連携協定を締結し、協同組合組織としての特性を活かした連携・協力により、持続可能な農業・林業を目指すとともに、豊かで住み続けられる地域社会づくりに関することや農地・森林が有する多面的機能の情報発信に取り組んでいます。

### 【過去事例】

- ・令和5年3月19日、森と農の学習会として、小学生以上の子どもと保護者を対象に、間伐見学や集荷場見学、収穫体験などを組み込んだツアーを実施しました。
- ・J A香川県と県森連、農林中央金庫高松支店の3者が連携して、令和5年3月29日に国産木材を利用した木製食器170個を香川県社会福祉協議会へ寄贈しました。また、令和6年3月18日にも3者が連携して県産ヒノキの木製カルトン150個をJ A香川県の金融店舗に導入しました。

## ■J A香川県高松盆栽の郷について

同施設は、国内有数の松盆栽の産地である鬼無・国分寺地域をPRする拠点として、令和2年4月にリニューアルオープンしました。各種盆栽の展示販売や、盆栽体験ができる研修室を設置し、盆栽の魅力を国内外に発信しています。

## ■香川ヒノキを応援する会

県産ヒノキのブランド化を進めるため、県森連が令和6年8月に県や県内企業、教育機関などと連携して立ち上げました。県産ヒノキの将来性に期待を膨らませるとともに県内外での知名度の向上を図り、県産ヒノキの優位性を積極的に発信しています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

J A香川県 総合企画部総合企画課 担当：砂川 電話：087-825-0205

※情報提供：J A香川県 総合企画部総合企画課 電話：087-825-0205